

**地域密着型サービス運営推進会議報告書**  
**(書面会議)**

施設名      デイサービス なすの花  
施設種類      地域密着型通所介護  
                 介護予防・生活支援サービス事業通所型サービス

出席者（敬称略）

利用者家族	2名
地域住民	1名
有識者	1名
出雲市役所職員	複数名
なすの花職員（管理者・生活相談員）	2名

【 議 題 】

事業の運営について

I. サービスの利用状況（11月末現在）

登録者数      23名（女性のみ）  
                 ※5月末時点と比較し、2名増となっています。  
                 ※5月末以降、1名；死亡・1名；病気療養（利用中止）  
                 2名；認知対応型施設に移行されております。

介護度内訳      事業対象者－1名・要支援1－1名・要支援2－7名  
                 要介護1－6名（内1名：骨折により自宅待機中）  
                 要介護2－5名  
                 要介護3－2名（内1名11月半ばより来年2月まで老健入所）  
                 要介護4－1名（骨折により自宅待機中）

年齢層      71歳～96歳（平均年齢89歳）

II. 主な行事と活動の様子（令和4年6月～令和4年11月）

毎月誕生会；お花とメッセージカード、歌でお祝いをいたします。  
6月；梅雨入りし、蒸し暑い日が続きました。熱中症警戒アラートが何度も発令され、中には自宅で罹患された方もおられました。（家族様の対応が早く、大事には至りませんでした。）特に月後半には連続して猛暑日となりましたが、暑さをあまり感じない方や喉の渇きの訴えもなく、エアコンや扇風機の風に「寒いわ。」と言われる方など様々で、体調の崩れを心配しましたが、急変もなく皆さん元気で過ごされました。  
笹巻作り；葉っぱの仕分けやハダコを抜き取る作業もお手の物。「何年もやったことがな

いわあ。できーだらかあ？」と言いながら団子を巻くのも‘昔取った杵柄’で手さばきも軽たくさんできました。

7月七夕会；皆さんそれぞれに短冊に願い事を書きました。手作りした飾りと一緒に笹竹に吊るして賑やかな七夕飾りの完成。「こんな行事は最近はさんもんねえ。」  
「子供の頃はみんなでしたよ。」昔を思い出して話に花が咲きました。そして、ジュースとフルーチェで「かんぱーい！」「来年もしようね。」と誰かが。

避難誘導訓練；(火災想定)物忘れが進んだ方の誘導はバタバタします。事前説明も伝わらず、場合によっては(いつもと違う状況に)興奮される方も。車椅子の方はスムーズにできました。全体的には職員の連携も取れていたと思います。

月前半は暑さが続き、一旦峠を越したかのように思ったのも束の間、後半には再び猛暑となりましたが、皆さん体調を維持されました。こまめに水分摂取の声掛けを行いました。

8月；残暑が続き、体調不良でお休みされる方が多くなりました。ご利用人数が僅か4名という日もありました。ご利用の度に熱発、一番に熱中症を心配しましたが結局原因不明。一過性のものだという診断にちょっとホッとした方もおられました。20日過ぎ辺りから暑さも少し和らいで何となく過ごしやすくなりましたが、体調のすぐれない方が目立ちました。

9月敬老会；今年もゲストを呼ぶことが出来ず、内容を大幅に縮小したものとなりましたが、職員の余興(変装や寸劇にいっぱい笑っていただきました。)に大きな拍手、盛り上がりました。お祝い膳も喜んでいただきました。そして、お抹茶で長寿をお祝いいたしました。「わたし、一言お礼を言わせて！今日は私たちのために…」或る方が突然立ち上がって職員に感謝の気持ちを述べられる一幕がありました。(予想外のことで胸の詰まる思いでした。)

外出；大社～多伎方面にドライブ。「海を見ると気持ちが落ち着くわあ。」「おにぎりでも持って来たかったわ。」気分転換が出来たようです。

台風接近；予報とにらめっこしながらの営業日もありました。

19日は災害危険等により休業いたしました。(予め本人様、家族様には了解を得ております。)

10月；天候も落ち着いてきて少しづつ秋の気配。出雲空港まで足を延ばしてみました。和やかな日差しと爽やかな風が何とも心地よく、公園内のベンチでのんびりしました。ちょうど二機の発着陸に遭遇し、「おーい！」「バイバーイ！」皆さん手を振って、まるで童心に帰ったような一コマでした。また、北島さんにお参りしました。「わたし賽銭持ってきとらんよ。」「大丈夫ですよ、私が代表で入れますけん。それっ！」皆さん何をお願いされているのか、何度も手を合わせて深々とお辞儀。記念写真の後、周りを散策して帰りました。

秋の味覚；柿をいただきました。「皮むきどうですか？」「なんぼでもすーわね。」「手、切らんでくださいよ。」「これぐらいなんとけだいないわね。」心配をよそに果物ナイフの使い方スムーズでした。

月も終盤になると寒暖の差が大きくなりました。季節が変わり、また体調を崩される方がちらほら出始めました。

11月外出できず；穏やかな天候に恵まれ外出日和もありましたが、職員がコロナ濃厚接触者で自宅待機となったり諸事情で休んだりと人員配置状況が厳しいことが多く、外出できませんでした。更に月半ばごろより天気は良くても気温の低い日が目立ってきて、紅葉の景色も気になりましたが、結局出掛ける機会が持てないままとなり残念でした。また、曜日によっては「出掛けらんでもいいわね。ここで皆としゃべっとったがいいわあ。」と言われることもあります。

日々の活動 ～ 体操（午前、午後）・計算問題（100マス計算や小銭とお札の計算など）、漢字クイズ、ひらがな文字遊び、写経、塗り絵、クロスワードや間違い探しなど個別でしたり、歌唱やしりとり、ボール転がしや紙コップゲーム（タワーマンション）など全員で行っています。また、折り紙細工やちぎり絵、壁面飾り作り（桜や新緑、アジサイ、ひまわり、鯉のぼり、蛍、もみじなど季節に合わせた作品）を共同作業で行っています。

### Ⅲ. 研修・講習について

（外部）

- ・在宅における新型コロナウイルス感染症対応～ケアマネジャーから見た現状と課題～
- ・介護施設・事業所のためのBCP策定セミナー

（内部）

- ・感染症（インフルエンザ、ノロウイルス）の予防について
- ・職員会議に併せ、リスク検討会を行っています。

### Ⅳ. 新型コロナウイルス感染症における対応について ～ 感染予防・拡大防止

- ・職員の出勤前の検温およびご利用者様の乗車前の検温（37.5℃以下の確認）  
※ご利用の途中でも、37.5℃以上の発熱がある場合には、ご利用を中止させていただきます。
- ・うがい、手洗い（手指の消毒）、マスク着用の徹底
- ・送迎後の車内、屋内の共有物および共有スペースの消毒
- ・屋内の小まめな換気
- ・環境面の整備（衛生管理）

以上のほか、職員間で情報を密にして、感染リスク低減に努めています。

#### ※事業所における感染状況

8月：職員1名家族感染により濃厚接触者となりました。

11月：ご利用者1名罹患。但し、この方は二か所のデイサービスを利用されていて、当事業所は週1回、他事業所を複数回ご利用。他事業所での感染が確認されて

おり、直接当事業所への影響はありませんでした。（本人様、熱発や咳はあったものの、大事に至らずに回復されました。）

職員2名家族感染により濃厚接触者となりました。

上記職員はいずれも無症状。待機期間を経て業務に復帰いたしました。

尚、年末年始を迎えるにあたっての対応については、ご利用の自粛については特に言及せず、県外者との接触があった場合は、健康観察表によって様子観察をお願いしたいと考えております。

#### 今後の予定と課題

- ・ボランティアの受け容れは当面の間中止
- ・外部研修への参加（社会情勢に沿って取り組んでまいります。）
- ・内部研修（レクリエーションの進め方について、個人情報保護・漏えい防止について）
- ・地震想定避難誘導訓練（時期未定）

#### 《ご意見等》

- \* 主人と一緒に内容を確認させていただきました。何も言うことはありません。いつも楽しみにして出掛けてくれるので喜んでいきます。これからもよろしくお願いします。
- \* 日々の活動や季節の行事など、いろいろ工夫されていていいと思います。まだまだコロナ禍で大変だと思いますが、頑張ってください。
- \* 特に言うことはありません。もし、私がおじゃまして何かお手伝いすることがあったら、いつでも言ってください。
- \* 季節ごとに様々な行事を行っておられる様子が伝わってきました。

Q) 火災想定避難誘導訓練を実施された気付きや次回訓練時の課題があれば教えてください。

A) 訓練実施後の振り返り（反省）では、以下の点が挙がりました。

- ・認知機能が低下されている方の誘導は毎回バタバタします。説明するも短期記憶がなく、中には興奮される方もおられ、実際に（火災が）起こった時に冷静な行動がとれるかどうか不安です。
- ・車椅子使用の方の誘導はスムーズにできたように思います。
- ・それぞれに声を掛け合って職員の連携もとれていたと思います。

☆ 次回の訓練は地震想定となります。膝の痛い方や押し車使用の方が多く、テーブルの下に潜り込むにもできない方や時間が掛ることは必至です。その方たちをどのように誘導していくかが大きな課題と考えます。

以上

皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の活動や事業の運営に反映させていきたいと思っています。ありがとうございました。